

# [PHASE] / 報告会・特別セミナー

本日は[PHASE]報告会にお越しいただきありがとうございます。  
少しでも参加した皆様に何かを持ち帰っていただくよう、内容を構成しています。  
質疑に関しては、会の終了後個別相談の時間を設けますので、その際をお願いいたします。  
また、本日上映したスライドについては、PDF についてお渡しが可能です。  
必要な方は、後日事務局宛にメールにてご連絡ください。 h-tsuruga@phase-ex.jp

## 概要

---

### 第1部 [PHASE]の概要

- 1.開催概要
- 2.準備期間 →5/11 キックオフ
- 3.開催の理由 →オンライン展示会の限界・職人の存在
- 4.なぜスモールワールドだったのか →「プロトタイプ発信地」としてのミッションを持つ
- 5.コロナ「4つの対策方針」
  - ①展示会形式
  - ②設計上の工夫
  - ③主催者による通常のコロナ対策
  - ④会場による対策
- 6.各担当による説明
  - ・デザインとディスプレイ(SUPER PENGUIN)
  - ・展示台の仕組と考え方(because)
  - ・オンライン商談の仕組み(Vidya)

### 第2部 今後の展示会のあり方と[PHASE]

- 1.これからの展示会の考え方
  - ・これまでの展示会： 大都市圏での開催が主流・コストが掛かる
  - ・これからの展示会： 成果重視・コスト削減・PR 出展の減少 →出展しやすい工夫・成功しやすい工夫
- 2.[PHASE]の考え方
  - ・[PHASE]の真意とは？ :コロナ下だけでなく、今後も適用できる可能性 →展示会に自由度を持たせる
  - ・出展フェーズをつくる、という考え方 →潜在出展者を確保すること

[PHASE]-1 オンライン展示会

[PHASE]-2 半オンライン・半リアル

[PHASE]-3 これまでのリアル展示会

### 第3部 結果報告

- 1.来場者数と来場者属性(事務局:フィールドエース)  
444名(1日目28名 2日目50名 3日目108名 4日目112名 5日目146名)
- 2.アンケート結果(事務局:フィールドエース)
- 3.気づきと課題点(竹村)

## 第4部 [PHASE]の展開

1. 応用の可能性:リアルブースへの応用も
2. 展開の可能性:

(休憩)10分

特別セミナー

### 「WITH コロナ時代の展示会ブースの考え方」

SUPER PENGUIN 株式会社 代表取締役 竹村尚久

はじめに

#### 第1章.展示会ブースを考える上での基本方針

1. 来場者が集まらない「5つの理由」
2. 派手なだけ、目立つだけはいけない
3. 展示会出展「4つの目的」
4. デザイン性と集客力の両立/2つの軸

#### 第2章.展示会で成果を出すための「基本3原則」

1. 基本3原則とは?  
原則1.何を扱っているか  
原則2.通路際に展示台を  
原則3.立ち方・待ち方を考える

#### 第3章.WITH コロナ下での展示会ブースの基本方針

1. これからの展示会  
・出展しやすいこと/成果が出やすいことが大事  
・2つの指針:①コロナ対策 ②結果を出す工夫
2. 展示会ブースの「5つの変化」  
①コロナ対策 ②コストは掛けられない ③成果を出すことが重要 ④来場者が少ない ⑤密な対応ができない  
・来場者の動きを変える:「お声がけ」より「ひとりじっくり検討する」へ
3. コロナ下のブース「5つの対応策」  
①レイアウトによる工夫 ②じっくり見る時間をつくる ③オンラインも活用する ④接客は最小限にする ⑤空気を循環させる

#### 第4章.展開例

- ・1 小間の場合/2 小間の場合

おわりに

- ・事例のご案内:関西ホテルズ(インテックス大阪・7/29-31) 尾崎陶器ブース(1 小間)
- ・オンラインセミナー無料配信のお知らせ(期間限定・10 月末まで): [www.naohisa-takemura.com](http://www.naohisa-takemura.com) に掲載

#### ■問い合わせ

[PHASE]事務局 担当:鶴我 [h-tsuruga@phase-ex.jp](mailto:h-tsuruga@phase-ex.jp)

※セミナーに関して: SUPER PENGUIN 株式会社 [info@superpenguin.jp](mailto:info@superpenguin.jp)